

KiKiの広場

2021年 11月 1日
cafe NO.133
KiKi



ジリジリと暑い日が続く中、いったい秋っていつくるの?と置いていたら、びっくりするほど一気にやってきた10月でした。もっとゆっくり秋を楽しませてと切に願っていましたが、11月の予報を見ると、少し穏やかなお天気が続くとのことです。ちょっとほっとしました。何事も急な変化は、身体にも心にもよくないですね。それでも、コロナ等で何かと窮屈な思いをする今、せめて外に出たら爽やかな風を感じ、心をリフレッシュしたいと思います。気持ちのいい季節が少しでも長く続きますように!!

「今月のケーキ」・・・「渋皮栗のモンブラン」 350円



ホイップクリームとマロンムースを2層にした中クリームと渋皮栗ペーストを合わせたクリームを絞り、その上部に渋皮栗甘露煮をトッピング。栗風味豊かなモンブランケーキです。

11月の予定

休館日	12日(火)
定休日	毎土・日・月曜日
臨時休業日	23・30日(火)

「気まぐれシェフの
KiKi オリジナルシフォンケーキ」
「さつまいものシフォンケーキ」
.....300円



手作りのさつまいも餡とコロコロさつまいもが入った、優しい味のケーキです。ほっこり、しっとり、秋を感じるさつまいものシフォンケーキ。
おさつチップスと一緒にどうぞ ♡

今月のお気に入り・・・「心穏やかに秋を楽しみたい絵本 Part2」

～ 「あきいろおさんぽ」「あきねこ」「木のうた」「いちょうの実」「おぼけリンゴ」「はっぱじゃないよぼくがいる」 などなど ～

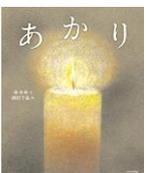


「あきいろおさんぽ」は、秋が満喫できる優しい絵本です。小さい頃から魚釣りと絵を描くことばかりやっていた作者の村上康成さんの人生を変えたのが、浪人中に出会った谷内こうたさんの絵本「のらいぬ」。身体が震えるような感動を味わって、その後絵本作家になることを決めたそうです。そんな絵本に出会えるってすごい!ポーっと生きていたら、出会えたことにも気付けないのではないのでしょうか。「あきねこ」は、ガラスめだまのように透き通った『あきかぜえのぐ』を使って、うっとりするほど美しい秋の風景を見せてくれます。オッドアイ(左右色違いの瞳)のあきねこが、神秘的です。



今月の本棚・・・「心がほっとして、優しい気持ちになれる絵本」

～ 「あかり」「天使のかりかた」「世界でいちばんやかましい音」「みんなドキドキ恋してる」「あなたがだいすき」 などなど～



ろうそくのあかりが優しく温かい「あかり」は、読んでいる人の心も優しく温かく照らしてくれるようです。叙情的な言葉と美しく幻想的な絵、心に残る一冊です。「天使のかりかた」も、大好きな絵本の1つです。天使がとにかく愛らしくて可愛い。お話もとても素敵です。天使のごはんは、主人公の女の子、さちのお話。とくにどきどきした時のお話が大好き。友だちに自分の想いをなかなか届けられず悩むさち、そんなさちの背中をそっと後押しし、可愛らしい方法でさちの心を届けてくれます。あ～、私も天使がほしい!誰もがそう願う絵本です。天使のウンチ、これがまた最高!!



ほっとフレイク

ヒストリア宇部では、常に数名の学生さんがスタッフの一員として働いてくれています。今の仲間は、6代目と7代目の青年たちです。そんな中、5代目のIさんが、先日遊びに来てくれました。就職が決まり、春には東京に旅立つそうです。ちょっぴり人見知りでお下手のIさん、時には涙することもありますが、それでも最後まで一生懸命頑張ってくれていました。Iさんを娘や妹のように思う女性スタッフたちも集合し、わずかですが楽しいひと時を過ごしました。Iさんがみんなに会いに来ようと思ってくれたその気持ちが嬉しいです。ヒストリアでの出会いや経験が、これからの人生の中で、少しでも役に立つことがあればと心から願っています。頑張れ!Iさん!!